



学校教育目標

自ら学ぶ子

「学び続ける子」「共に生きる子」「健やかな子」「浦島の子」「未来を創る子」

2月号 令和5年 2月1日

学校への理解を深めていただくために、学校 web サイトに行事や日々の学校の様子を「学校日記」として掲載しています。ぜひご覧になってください。

しら
調べるということ



ふくこうちょう ながしま まゆみ
副校長 長島 真弓

1月8日に近所のスーパーマーケットに出向くと既に正月の飾りつけから、赤鬼と升、終とイワシそして福豆の節分の飾りつけに変わっていました。邪気を払い、無病息災を願うのが「節分」という行事です。なぜ豆をまくのでしょうか。手元のスマートフォンで調べると『古来より日本人は、言霊の存在を信じて、言葉と霊力に意味を与え、それを生活のなかに取り入れてきた。豆をまくようになったのは、豆＝魔目（鬼の目）を滅ぼすということに由来している。』その他にも、『「豆」＝「魔滅」、豆を煎ることで「魔の目を射る」ことに通じるため。』と情報を得ることができました。

現在、私たちはインターネットの普及で調べることにとても便利な時代に生きています。私も、1時間以上使って本などで調べた情報がスマートフォンにより数分で得られたことが度々あります。以前、気になることがあったら、すぐにスマートフォンに手を伸ばすと、若い人や中高生のスマートフォン使用が話題になりました。でも、時代は変わりつつあります。変化の激しいこれからは、時代に対応するために常に学び直し、自分の知識に新しい情報を取り入れて更新していくことが必要になると考えられています。資料集などの教育に特化したツールだけでなく、最新の情報やより詳しい情報など、必要な情報を必要なタイミングで得るためには、大人が使用しているインターネットのツールを使うことの必要性が出て来ています。小学生でも授業中に気になったらすぐに ICT 機器を使い自由に調べ、知識を増やす時代が来ています。

また、そうした習慣を身に付けた子どもたちは、大人の目が届かないところで、フィルタリングがかかっていない、ツールやアプリケーションを使用する機会が出てくる可能性があります。情報拡散が速いので、得られた情報の根拠や証拠も問題です。学校内では、ICT 機器の使い方を子どもたちと話し合いながらルール作りをしています。ご家庭でもインターネットゲームやメール、ユーチューブ鑑賞時に、約束を設けられていることも多いかと思えます。これからは、こうしたご家庭での約束が生活の中で大切になってくると感じています。これを機会にそれぞれのご家庭の教育方針に合わせた、インターネットの使い方について、お子様と話し合っていたいただければと思います。